

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月18日
事業名	更生保護活動支援事業	担当課・係名	福祉課地域福祉係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	14
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要

目的 (何のために)	各種団体に補助金を交付することにより、罪を犯したをした人の立ち直りを地域で支え、犯罪や非行のない安全で安心なまちづくりを推進する。				
対象 (誰を・何を)	<ul style="list-style-type: none"> ・大磯保護司会（大磯町7名、二宮町7名） ・大磯町保護司会（7名） ・大磯地区更生保護女性会大磯支部（56名） 				
内容	以下の活動に対する補助を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・保護観察対象者の指導や生活環境の調整、犯罪予防活動。 ・定例研修、特別自主研修。 ・矯正施設への訪問研修。 ・社会を明るくする運動の啓発。（街頭啓発活動、講演会） 				
根拠法令・条例等	大磯町保護司会事業費交付金交付要綱、大磯地区更生保護女性会大磯支部補助金交付要綱				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	147	149	153
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	147	149	153
	職員人数 (概算職員数)	人			0.23
	人件費計 (b)	千円			1,409
総事業費 (a)+(b)	千円	147	149	1,562	
事業費内訳 H 25 年度	19-13大磯保護司会補助金 85千円、 19-42町保護司会補助金 18千円 19-60矯正施設等研修事業補助金 50千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 大磯保護司会会員数	人	15	14	14
	② 大磯地区更生保護女性会大磯支部 会員数	人	65	56	56
活動指標 (活動量)	①				
	②				
成果指標 (達成度等)	① 保護司会・更生保護女性会研修会	回	10	9	9
	② 社会を明るくする運動街頭啓発活 動・講演会等	回	2	3	3

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 更生保護に係る事業は、国からの依頼されているものも多いため、町で事務を行うことが妥当である考える
	・実施手段は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 社会を明るくする運動の啓発では、保護司会・更生保護女性会を中心とし、民生委員児童員協議会や警察、学校等と連携をとることができている
成果	・意図した成果が得られているか。	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 啓発活動等による効果により、犯罪予防、更生保護事業の充実につながっている
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 少ない費用で、大きな効果が得られていると考える
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他 啓発物品については、効果のある物（使用頻度の高い物）を選択し、少額の物でも多大の効果をj得ている
	担当課による評価		<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
		評価理由	国等と連携を強化し、より多くの方々に周知していくと共に、今後も継続的に啓発を行っていくことが、必要不可欠であると考えます。

5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	今後も継続的に活動していくとともに、さらに広い範囲へ啓発を広めるよう努めたい。
② 平成26年度に着手する事項	なし。
③ その他（課題、調整事項等）	なし。

6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

犯罪や非行のない安全で安心なまちづくり推進のため、団体の自主運営を促進するよう、引き続き、町から支援を継続する。
--